



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月7日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6565

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,883	3.2	142	58.4	57		48	
2023年3月期第2四半期	1,945	0.4	90	5.2	0		2	55.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 89百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 7百万円 (74.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	1.61	1.60
2023年3月期第2四半期	0.07	0.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	20,297	4,851	23.8
2023年3月期	20,433	4,790	23.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,839百万円 2023年3月期 4,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		1.00	1.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	17.6	400	86.5	210	832.2	200	189.3	6.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	30,311,000 株	2023年3月期	30,311,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	68,850 株	2023年3月期	68,775 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	30,205,366 株	2023年3月期2Q	30,071,431 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、5月には新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行され、消費者マインドの改善傾向が明確となり、個人消費や企業の景況感も持ち直し、緩やかな回復が続きました。一方、円安・資源高を背景に消費者物価の上昇が続いており、日銀の金利操作が再修正され、さらに海外の地政学的リスクの緊張感が高まっていることなど、今後の展開に注意を要する状況でした。

このような中で、当社グループは、「中期経営計画ブレークスルー2024 ～PROGRESS IN THE NEW NORMAL～」の最終年度となることを踏まえ諸課題達成に向けて取り組みました。

商業施設事業におきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、ゴールデンウィーク前にユニクロ系列のGUがオープンしたほか、夏休みのイベントやシネマが好調で、引き続き来館誘致の強化に取り組みました。一方、物価高に伴う資産除去コストの上昇を踏まえ資産除去債務を見直すこととし、減価償却費の追加等で約14百万円を計上しました。ヘルスケア事業におきましては、夏場の閑散期に入り健康関連商材の市況回復が遅れている業態があり、伸び悩みが続きました。せんい事業におきましては、前年同期に好調であった中国連結子会社の事業につき本年8月29日付で撤退方針を決定し営業をほぼストップしたものの、国内市況の回復に伴い、国内での販売力強化に取り組んだ結果、第2四半期累計としては16期ぶりに、せんい事業セグメント利益が黒字化しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は18億83百万円（前年同期比3.2%減）の減収となりましたものの、採算改善効果が大きく、商業施設事業での追加償却費負担等もこなして、営業利益は1億42百万円（前年同期比58.4%増）と前年同期比増益となりました。営業利益の増益により、支払利息などを加味した経常利益は57百万円（前年同期は経常損失0百万円）と第2四半期としては前年同期の赤字から黒字に転換しました。これに、法人税等の負担を考慮した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円（前年同期の約22倍）と前年同期比増益の決算となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、区画工事期間中の一部区画閉鎖の影響があったものの、ゴールデンウィーク前に開業した大型テナントGUの効果や夏休みの販促イベントの強化等により、売上高は前年同期を上回りました。損益面では、物価高に伴う資産除去コストの上昇を踏まえ資産除去債務を見直すこととし、減価償却費の追加等で約14百万円を計上しましたものの、市況回復や固定資産の減価償却費減少などもあり、営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は10億85百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は4億16百万円（前年同期比3.5%増）と前年同期比増益となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、夏用の当社独自技術のバイオ麻の販売が伸び悩みながらも、売上高は前年同期を上回りました。一般寝装品部門につきましては、夏物商材が順調で、売上高は前年同期を上回りました。また、採算改善効果により、ヘルスケア事業における営業損失幅は縮小しました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は5億31百万円（前年同期比8.4%増）、営業損失14百万円（前年同期は営業損失26百万円）と営業損失は前年同期比改善しました。

(せんい事業)

衣料部門につきましては、国内アパレルOEMの売上高は前年同期を上回りましたものの、撤退方針とした中国現地法人の営業をほぼストップしたため、前年同期比で1億27百万円の減収となりました。ユニフォーム部門につきましては、官需ユニフォームが順調に推移し売上高は前年同期を上回りました。

この結果、せんい事業の売上高は2億67百万円（前年同期比28.8%減）となりましたものの、衣料部門およびユニフォーム部門の両部門において採算が改善した結果、営業利益4百万円（前年同期は営業損失19百万円）と、第2四半期のセグメント利益としては16期ぶりに黒字化しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は202億97百万円で、前期末比1億36百万円減少しました。その内、流動資産は23億48百万円で、前期末比8百万円減少しました。その主な要因は、売掛債権の回収により受取手形及び売掛金が1億16百万円減少したこと、商品の仕入増により棚卸資産が93百万円増加したことであります。また、固定資産は179億48百万円で、前期末比1億28百万円減少しました。その主な要因は、有形及び無形固定資産がリース資産の取得などにより1億15百万円増加した一方で、減価償却費の計上などにより2億52百万円減少したことであります。

負債の残高は154億45百万円で、前期末比1億97百万円減少しました。その内、流動負債は43億86百万円で、前期末比28億56百万円増加しました。その主な要因は、一年内に返済期限が到来する借入金を固定から流動に振り替えたことにより短期借入金が28億45百万円増加したことであります。固定負債は110億59百万円で、前期末比30億53百万円減少しました。その主な要因は、約定弁済及び流動へ振り替えたことにより長期借入金が31億22百万円減少したこと、新たなリース契約などにより固定負債のその他が62百万円増加したことであります。

純資産の残高は48億51百万円で、前期末比61百万円増加しました。その主な要因は、配当金の支払いにより30百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益48百万円の計上により利益剰余金が18百万円増加したこと、保有株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金が28百万円増加したことであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億76百万円のプラス（前年同期比170.9%増）となりました。これは主に、減価償却費2億61百万円、売上債権の減少1億23百万円、棚卸資産の増加93百万円、仕入債務の増加1億36百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、12百万円のマイナス（前年同期は14百万円のマイナス）となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出12百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億24百万円のマイナス（前年同期は3億17百万円のマイナス）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2億77百万円、配当金の支払額30百万円によるものであります。

これらの各活動の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は10億43百万円（前年同期比0.7%減）となり、前期末に比べ42百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月10日発表の通期連結業績予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,011,144	1,053,468
受取手形及び売掛金	561,203	444,850
棚卸資産	724,191	817,509
その他	62,144	34,243
貸倒引当金	△1,270	△1,130
流動資産合計	2,357,414	2,348,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,951,635	7,879,063
土地	9,265,726	9,265,726
その他(純額)	216,851	163,079
有形固定資産合計	17,434,213	17,307,870
無形固定資産		
のれん	142,481	135,277
その他	19,987	16,664
無形固定資産合計	162,469	151,942
投資その他の資産		
投資有価証券	337,804	380,391
破産更生債権等	83,256	83,256
繰延税金資産	100,237	66,572
その他	38,420	38,345
貸倒引当金	△80,228	△80,228
投資その他の資産合計	479,490	488,336
固定資産合計	18,076,173	17,948,149
資産合計	20,433,587	20,297,090

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	253,240	389,926
短期借入金	561,324	3,406,366
未払法人税等	4,297	631
賞与引当金	37,539	37,892
株主優待引当金	28,000	—
その他	645,445	551,287
流動負債合計	1,529,846	4,386,105
固定負債		
長期借入金	9,915,306	6,792,935
長期預り保証金	1,370,427	1,357,110
再評価に係る繰延税金負債	2,476,495	2,476,495
退職給付に係る負債	267,039	269,925
資産除去債務	55,644	72,113
その他	28,482	90,869
固定負債合計	14,113,394	11,059,448
負債合計	15,643,241	15,445,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	25,901	25,901
利益剰余金	15,030	33,339
自己株式	△9,784	△9,791
株主資本合計	131,147	149,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△984	27,202
繰延ヘッジ損益	△28,544	△15,988
土地再評価差額金	4,664,864	4,664,864
為替換算調整勘定	13,556	13,620
その他の包括利益累計額合計	4,648,890	4,689,699
新株予約権	10,307	12,388
純資産合計	4,790,346	4,851,537
負債純資産合計	20,433,587	20,297,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,945,814	1,883,600
売上原価	1,378,701	1,282,251
売上総利益	567,113	601,348
販売費及び一般管理費	476,978	458,585
営業利益	90,134	142,762
営業外収益		
受取利息	48	225
受取配当金	3,513	3,737
持分法による投資利益	—	14
固定資産売却益	—	10,035
その他	990	3,186
営業外収益合計	4,552	17,198
営業外費用		
支払利息	90,443	99,787
持分法による投資損失	303	—
その他	4,003	2,328
営業外費用合計	94,749	102,116
経常利益又は経常損失(△)	△63	57,845
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△63	57,845
法人税、住民税及び事業税	3,789	575
法人税等調整額	△5,991	8,718
法人税等合計	△2,202	9,294
四半期純利益	2,139	48,550
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,139	48,550

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,139	48,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,209	28,187
繰延ヘッジ損益	△7,986	12,556
為替換算調整勘定	8,786	64
その他の包括利益合計	5,009	40,808
四半期包括利益	7,148	89,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,148	89,359
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△63	57,845
減価償却費	287,390	261,018
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△180	△140
賞与引当金の増減額(△は減少)	751	353
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△26,000	△28,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,366	2,886
受取利息及び受取配当金	△3,561	△3,963
支払利息	90,443	99,787
持分法による投資損益(△は益)	303	△14
売上債権の増減額(△は増加)	223,836	123,420
棚卸資産の増減額(△は増加)	△60,984	△93,237
仕入債務の増減額(△は減少)	△150,383	136,795
預り保証金の増減額(△は減少)	△39,300	△14,263
その他	△92,870	△67,202
小計	227,015	475,284
利息及び配当金の受取額	3,561	3,963
利息の支払額	△90,800	△98,996
法人税等の支払額	△999	△4,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	138,777	376,001
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△14,477	△12,901
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,477	△12,901
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	813,624	—
長期借入金の返済による支出	△1,117,620	△277,329
リース債務の返済による支出	△10,922	△12,704
配当金の支払額	—	△30,242
その他	△2,561	△4,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△317,480	△324,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,176	3,907
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△192,004	42,324
現金及び現金同等物の期首残高	1,242,958	1,000,958
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,050,954	1,043,283

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	143,073	490,096	375,389	1,008,559	—	1,008,559
その他の収益	937,255	—	—	937,255	—	937,255
外部顧客への売上高	1,080,329	490,096	375,389	1,945,814	—	1,945,814
セグメント間の内部売上高又は振替高	228	—	—	228	△228	—
計	1,080,557	490,096	375,389	1,946,042	△228	1,945,814
セグメント利益又は損失 (△)	402,656	△26,611	△19,165	356,880	△266,745	90,134

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△266,745千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項なし。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	157,971	531,067	267,453	956,491	—	956,491
その他の収益	927,108	—	—	927,108	—	927,108
外部顧客への売上高	1,085,079	531,067	267,453	1,883,600	—	1,883,600
セグメント間の内部売上高又は振替高	228	—	—	228	△228	—
計	1,085,307	531,067	267,453	1,883,828	△228	1,883,600
セグメント利益又は損失 (△)	416,874	△14,452	4,225	406,647	△263,885	142,762

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△263,885千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項なし。